

2023 な な さ と

㊗るほど ㊗っとく ㊗あ ㊗りくむぞ！やって伸びる七里っ子！



R5. 10. 20 (金)
第41号
文責：校長 川添
七里小学校

木の実や枝で作ったよ！

もの作りって、楽しい～

17日(火)に県立甫喜ヶ峰森林公園から2名の方が「山の一日先生」として来校され、1・2年生に「ネイチャークラフト」体験の指導をしてくださいました。



つくったぞ～！

一日先生が用意してくださったたくさんの木の实や枝や端材を使って、マグネットやキーホルダー、昆虫や動物を作った後は、自由な発想でオリジナル作品作りにもチャレンジ！作品作りに没頭する子どもたちの様子を見て、急遽予定より1時間多く時間をとってくれました。

子どもたちの振り返りの中にも、「**木の实でいろいろなものが作れることが分かったよ。**」「**見たことがないいろんな木の实があったよ。**」「**楽しかったので、また作りたいな。**」と、**自然にある物に触れたり、作ったりすることへの喜び**があふれていました。

今朝、2年生の数人が、「校長先生、ぼくたち**どんぐりの研究を始めました！**試しに皮をはいでみたら、白っぽい種が出てきました。植えてみようかな？」と、目を輝かせながら話してくれました。

山の一日先生の体験が、早くも子どもたちの学びを広げてくれていました。

山の一日先生派遣事業はまだまだ続きます！

【今後の日程】

11月30日(木):3・4年生ペン立て作り他

1月27日(土):5・6年生 木工による日用品(卒業制作)づくり

1月27日(土):全校児童&保護者しいたけのコマ打ち体験



こんな木の实、初めて見たよ！すご～い

巨大クエ登場！



6年生が単式で学習する時に使っている学習室1前の廊下の壁に巨大クエの掲示物が登場！
これは、国語の授業で学習した「海の命」という物語に登場する瀬の主です。

6年生の子どもたちは、小学校に入学してからたくさんの物語文に出会い、学び、読み方を一つ一つ身に付けてきました。その力を全て使って、今回、立松和平さんの書いた「海の命」の学習に取り組みました。5人で学び合う中で、**物語が自分に大切なことを語りかけてくれている**ように感じ始めたようです。この巨大クエには、「海の命」の学習の過程で5人が立ち止まって考え合ったことが、

掲示されています。

登場人物の心情や、海の大切さが深く深く分かりました。

この物語を読んだ最初から最後まで心に残っている言葉があって、それは与吉じいさの千匹に一匹でいいんだって言葉です。最初からちょっとだけ分かっていた気がするけど、何回も読んで、言葉の意味が分かりました。千匹に一匹なら、海のいのちは変わらなくて、生命が続くという意味だと思います。

藤澤 新多

千匹に一匹、
それが自然を大切に
する

国語の授業では同じ物語を何度も何度も繰り返し読みます。友達と意見交流もします。だからこそ、いつもの読書とは違う気付きに出会います。子どもたちは、学習の最後に、自分の心に最も強く残ったことをまとめています。一人ひとりのまとめを読みながら、この子たちと出会った1年半前の学び方との違い、成長を感じて、心にぐっとこみ上げるものがありました。

28日の参観日には、ぜひ学習室1前の巨大クエをご覧になってください。

Q この細長いものの正体は？



1年生の子どもたちの間で、**カマキリ**の観察がブームになっています。「卵を産んだよ！」と報告してくれたり、えさになる虫を捕まえたり・・・なかなかの熱中ぶりです。

ある日、陽生さんが飼っていたカマキリがエサを食べなくなり弱っていました。その理由を調べていて「ひょっとして**ハリガネムシ**に寄生されているのでは？」と気付いたそうです。水の中にカマキリを入れると、案の定おしりからにゅるにゅると2匹のハリガネムシが出てきたそうです。一緒に観察していた國枝さんが「ギャー！」と悲鳴をあげていました。私も生まれて初めてハリガネムシを見て、叫んでしまいました。カマキリ博士になりそうな陽生さんです。